

E.T.C. Education Timely Change 「教育をタイムリーにチェンジする」



長野県総合教育センター通信

しののめ

2018/03/15
(平成30年3月号)
第107号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

所長挨拶	1
センター研究発表会ありがとうございました	2
平成30年度総合教育センターの重点事業の概要	4

所長挨拶

新しい学びを着実に

長野県総合教育センター所長 西條 浩章

2月16日に開催したセンター研究発表会には多くの皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございました。茂木健一郎氏と塩谷賢氏、教育とは違うフィールドで活躍される2人からの「狭い教員社会の凝り固まった価値観だけで『小さく前へならえ』をしているようにしか見えない」という率直な指摘は、センターの今後にとっては勿論、教育に携わる者すべてにとっても非常に貴重なものであったと思います。

塩谷氏の教育の現状への疑問や批判を継いだ茂木氏から「日本の教育に絶望している」という改革への刺激的な訴えがありましたが、そうした指摘を俟つまでもなく、教育における戦後最大の改革(=授業改善)の荒波の中にいるという自覚と、予測困難なこれからの社会を生きる子どもたちへの教育が旧態依然でよいはずがないという思いは、今年度の研修受講者の振り返りシートからもひしひしと感じられました。忙しい中、学校を空ける負担を顧みず、子どもたちのために学び、自らを高めようとセンターに来てくださる先生方の滾るような思いは「絶望」を「希望」に変えるエネルギーそのものだと思っております。

4月からはいよいよ小・中学校の新学習指導要領の先行実施、高校も新指導要領の周知が始まります。日々の授業改善は不可欠ですが、それが児童・生徒の「主体的、対話的で深い学び」の実現という目的に繋がるものでなければ本当の改善とはいえません。総合教育センターの英文表記は「Center of Education」とのこと。次年度の講座はさらに内容をブラッシュアップし、名実ともに教育の中心となるべく先生方のご支援に努めてまいりますので、次年度も是非センターをご活用ください。

最後になりますが、今年度センターにお越しいただいた皆様、ご支援くださった関係の皆様にお礼を申し上げ、年度末のご挨拶とさせていただきます。

センター研究発表会ありがとうございました

本年度の長野県総合教育センター研究発表会では、参加者の皆さんと、各テーマに関する研究の成果と、それを踏まえたワークショップを通し、様々な校種の教員同士が語り合う事で研究の成果を日々の実践へとつなげていくこと
「教える」という事について、哲学者、脳科学者それぞれの視点から光を当て、「教える」という事の意味、日々の実践を問い続けることを目指して実施しました。



今年度は、研究会を

*オープニング対談

*分科会（午前A,B,C/午後D,E,F）

*クロストーク

という日程で実施しました。

6つの分科会では、各チームでの研究成果を発表させていただくとともに、ワークショップ形式で内容を共有いただきました。（分科会の概要は次ページをご覧ください。）

講師である哲学者の塩谷賢氏と脳科学者の茂木健一郎氏からはご専門から見えてくる教育の課題、教員の文化、学校教育などに期待することなど、様々なお話を戴きました。



＜分科会A＞

「グローバル時代に求められる力」をつけるにはどうしたらよいか ～県内の学校の取組から～

「グローバル時代に求められる力」とは？	コミュニケーション力	伝える力
	受け取る力	受け入れる
	違いを理解し尊重する力	違いを知る 違いに気付く
		…自分や自分の周りへの理解
	課題解決能力	課題を見つける 課題に気付く
		課題を探究する
	メンタリティ	主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

情報機器、交通手段等の発達により世界のグローバル化が進んでいます。この分科会では、子どもたちに「どのような力を育ていけばよいのか」について、企業、大学、小中高等学校等の取組への取材内容やワークショップを基に一緒に考えました。

- 3「グローバル時代に求められる力」をつけるために意識したいこと
- ◆体験 気付く 考える
 - ◆ふりかえり
 - ◆アウトプット
 - ◆受け止める
 - ◆わたしたち教師や大人の視点
これからの予測不可能な時代を意識して
子どもたちの姿を見つめる

＜分科会B＞

子ども自ら課題を発見し、探究的に学んでいく学習に関する研究

「探究的な学び」とは（「学びの改革 基本構想」より）

- ①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、**自ら課題を見つけ**、
- ②そこにある具体的な問題について **情報を収集し**、
- ③その情報を整理・分析したり、知識や技能と結び付けたり、考えを出し合ったりしながら **問題の解決に取り組み**、
- ④明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、またそこから **新たな課題を見つけていく** という学習のプロセス

事例から見いだされた教師の手立て

- (1)子どもが自らの課題と体験や既習事項とを結び付け、追究できるような場面を位置付けること。
- (2)子どもの内面にあるものを引き出し、学習のねらいにつなげて子どもに戻し、学びを深めること。
- (3)子どもの願いの実現のため、授業や題材展開を構想していくこと。

この分科会では、子どもと教師の具体的な姿を通して探究的な学びに関する授業構想や題材構想、教師の手立てについて研究した内容を発表しました。また、自らを振り返るワークショップを実施し、参加者で共有しました。

＜分科会C＞

小学校段階におけるプログラミング教育 ～各教科等におけるプログラミング教育の実施に向けて～



「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業改善の一つの方法としてプログラミングを取り入れる

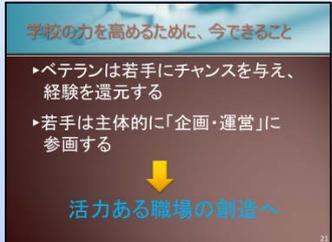
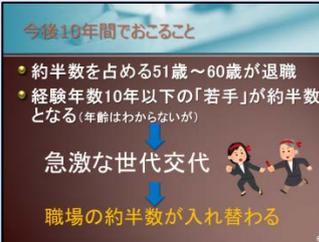
付加するのではなく、置き換える

- ・教科の学習で育みたい力を基に、児童の実態に合わせて、児童の主体的な学びに向かう学習活動として、従来の活動をプログラミングに置き換える。

この分科会では、プログラミングの活動を授業に取り入れたら「問題の解決に向けて粘り強く追究したり、協働の姿が自然に生まれたりしました」という感想をきっかけに、実践事例からプログラミングの活動を授業に取り入れる際の要点について考えたり、プログラミングの体験をしたりしました。

＜分科会D＞

職場のパートナーシップにつながる校内研修の充実に向けて ～ベテランは何ができるのか、若手は何ができるのか～



教員の世代交代は急速に進んでいきます。この分科会では、若い先生方を支える結びつきや校内研修のあり方に関する事例や研究の成果を紹介しました。そしてワークショップ「学校力を高める校内研修を企画しよう」では同僚性を高めるための方策について考えていただきました。

＜分科会E＞

「困難さのある児童生徒を支える学校体制づくり」をサポートするために～生徒指導・特別支援教育の視点で開発したシートの提案～



配慮を要する児童生徒の共通理解シート

氏名	
性別	
学年	
発達障害	
配慮事項	

この分科会では「児童生徒理解」と「個への指導・支援」の2つを視点として、困難さのある児童生徒を支える学校体制づくりをサポートするためにはどのようなしたらよいかについて発表しました。そして「配慮を要する児童生徒の共通理解シート」の演習を行いました。

＜分科会F＞

「主体的・対話的な学び」につなげるICT活用

RESASを活用した探究学習と信州学

わたしたちの信州学

長野県教育委員会

校種ごとの先進的事例の調査研究等から、授業におけるICT活用を具体的に考えていくことができるよう焦点化し、学習プロセスにまとめ提案を行いました。また、クラウドサービスを活用した協働学習の演習を行い、ICTを「新たな文房具」として体感していただきました。

今年度の発表会の冊子は今月下旬より、センターHPからダウンロードできるようになります。ぜひご覧ください。





平成30年度 総合教育センター 重点事業の概要

研修事業

「主体的・対話的で深い学び」へのチェンジ！

○子どもの「主体的・対話的で深い学び」につなぐ研修講座

- ・研修講座での教員の「主体的・対話的で深い学び」を、子どもの学びにつなぐ
- ・演習・実習・少人数協議におけるアウトプットで深い学びにつなぐ

◆子どもの深い学びにつなぐ、教員のキャリアステージに応じた指定研修

- ・長野県教員育成指標に基づき、自らの資質・能力の向上につなぐ研修
- ・教員相互の協働性を高め、考えを広げ深める研修

◆教師力・授業力の向上を図り、学力の向上につなぐ希望研修

- ・学校力の向上を目指す研修講座群の充実

信州 郷土、信州から学び、継承する「信州体験」講座

ICT 現代的な諸課題への対応につなぐICT活用講座

- ・魅力ある教育課程、分かる授業に向けた、教材や授業のあり方を学ぶ教科等教育研修
- ・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への実践力向上を目指した生徒指導研修
- ・一人一人が持てる力を発揮できるインクルーシブな教育を目指した特別支援教育研修
- ・ICTを活用した教育手法を学び、授業力の向上を目指した情報教育研修
- ・産業社会の進展に対応した知識・技能を学び、実践的な教育を目指した産業教育研修

学校支援事業

センターが学校をサポート

◆教職員研修会サポート

- ・専門主事が出向き研修会をサポート
- ・講座受講者の伝達講習をサポート
- ・Webコンテンツで研修会をサポート

◆学校訪問支援

- ・教科等指導の課題や授業改善に対応
- ・教育事務所と連携し、要請に対応

研究調査事業

喫緊の課題・時代を先取りする研究

◆チーム課題研究の推進

- ・課題に対応した提案性のある研究
- ・センター研究発表会での成果発信

◆県内外の教育機関との連携強化

- ・県内教員養成系大学(学部・大学院)との連携
- ・県内外教育機関等との連携

教育情報事業

学校で使える教育情報を発信

◆ホームページの充実と利便性アップ

- ・「学びの広場」… 様々な問題や学力向上に関わる情報を掲載
- ・センター通信「しのめ」… 最新情報や校内研修で使える資料を配信

教育相談事業

学校と連携した教育相談を推進

- ◆子どもの健やかな成長と発達を願う教育相談 … 児童生徒、保護者、教職員の相談に対応
- ◆学校の課題や授業づくりについての教育相談 … 教職員の相談に対応